

セフェム系抗生物質製剤

要指示医薬品 指定医薬品 使用基準

セファジン®S

泌乳期用乳房注入剤

【本質の説明又は製造方法】

本剤の有効成分であるセファゾリン(CEZ)は、セファロsporin系誘導体で、*Cephalosporium acremonium*が産生するCephalosporin Cから得られる7-aminocephalosporanic acidを母核とする半合成の抗生物質である。

CEZの抗菌スペクトルは、グラム陽性菌、陰性菌の広範囲にわたり、殺菌的に作用するが、大腸菌、クレブシエラに対しても安定した抗菌活性を発揮する。また、ペニシリン耐性のブドウ球菌にも有効で、CEZは単独感染はもとより特に混合感染の場合や原因菌の確定を待たずに早急に治療を開始したい場合に有用である。

本剤は、十分な薬剤量を1回で注入することにより殺菌効果を高めることができ、従来の3回注入の治療法に比べて同等又はそれ以上の効果を発揮する。更に、1症例につき1回のみ注入であるので、治療開始からの牛乳廃棄期間が短縮できる。

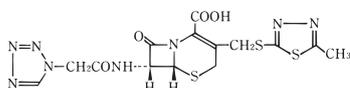
【特長】

- 抗菌スペクトルは、ブドウ球菌、レンサ球菌等のグラム陽性菌、大腸菌、クレブシエラ等のグラム陰性菌と広範囲であり、これらに対しバランスのとれた抗菌力を示す。
- 作用は殺菌的であり、その機序は細菌細胞壁の合成阻害にある。
- ペニシリナーゼに安定で、ペニシリン耐性のブドウ球菌にも有効である。
- 乳汁中においても安定した抗菌活性を示す。
- 注入後の乳汁又は乳腺組織等体内からのCEZの消失は速やかに72時間までに検出限界以下となる。
- 乳腺組織に対する刺激性は認められない。
- 乳頭口を傷つけにくく、注入しやすく設計された2段型のシリンジであるので注入が容易である。
- 1回のみ注入であるので、乳頭口損傷や再感染の機会が減少する。
- 1回のみ注入であるので、牛乳の廃棄期間が短縮できることから経済的である。

【成分及び分量】 1容器(9g)中

成分	分量
主剤 セファゾリン	450mg(力価)
着色剤 青色1号	25mg

構造式:



一般名:セファゾリン(Cefazolin)

略号:CEZ

化学式:(6*R*,7*R*)-3-[(5-Methyl-1,3,4-thiadiazol-2-yl)thio]methyl]-8-oxo-7-[2-(1*H*-tetrazol-1-yl)acetamido]-5-thia-1-azabicyclo[4.2.0]oct-2-ene-2-carboxylic acid

分子式・分子量:C₁₄H₁₄N₈O₄S₃・454.51

【効能又は効果】

有効菌種

ブドウ球菌、レンサ球菌、大腸菌、クレブシエラ

適応症

牛:泌乳期の乳房炎

【用法及び用量】

牛:1乳房当たり、1容器を1回注入する。

【使用上の注意】

「基本的事項」

1.守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
- ・本剤は効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用すること。
- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- ・本剤は1症例につき1回のみ使用に限ること。
- ・本剤は「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意:本剤は医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物(牛)について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守してください。

牛(泌乳しているものに限る):食用に供するためにと殺する前3日間又は食用に供するために搾乳する前72時間

(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2.使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

・誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。

(牛に関する注意)

・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

【使用期限】 包装に表示の使用期限内に使用すること。

【包装】 9gシリンジ×10本

【姉妹品】 泌乳期用乳房注入剤セファメジンQR(3gシリンジ)
乾乳期専用乳房注入剤セファメジンDC(3gシリンジ)

使用法

セファメジンSを注入する際は、以下の手順に従って乳房内に注入してください。

① 乳頭をエタノール消毒綿等で消毒してください。
② 注入針の長さを選択した後(下図参照)、乳頭管に挿入し薬剤を注入してください。

(浅部挿入の場合)先端部をねじり取るようにしてはしないでください。

*: ストッパーに若干切り口が残りますが乳頭への影響はありません。
注意: 注入針には手を触れないでください。

【製品情報お問い合わせ先】

日本全薬工業株式会社

〒963-0196 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

フリーダイヤル 0120-452-793

受付時間 9:00-17:00(土日祝日・弊社休業日を除く)

発売元

MSDアニマルヘルス株式会社

東京都千代田区九段北一丁目13番12号

TEL 03-6272-1099

FAX 03-6238-9080

製造販売元



日本全薬工業株式会社

ZENOAQ 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>)にも報告をお願いします。